

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	4 魅力ある観光と交流を創出する	施策名	② 観光資源の活用促進
------	----------------------------------	----------------	------------------	-----	-------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
◆観光客のニーズが高まっている体験型・参加型の観光を促進するために、地場産業の店舗の一部を物づくりの体験ができる誘客施設として「まちかど観光体験館」を整備推進している。 ◆大谷観光を推進するため、地元住民による大谷奇岩群などの特異な景観の保全活動や、フェスタin大谷のイベント開催を支援している。 ◆関係市町と連携し、熱気球大会などのイベントを活用しながら広域観光を推進している。	◆活動指標について、年間入込客数は、H22に引き続き減少している。 ⇒ H24末の状況としては、東日本大震災以降、原発事故等の影響を受け、入込客数は落ち込んでおり、当初の目標達成は難しい。	84.9%	年間入込客数	千人		13,533	13,885	14,259	14,659	15,000	84.9%
					13,209	13,837	13,879	13,531	12,741	14,000	93.3%
課題	◆東日本大震災による被害、自粛ムード、原発事故等の風評被害の影響により、来訪者の減少が懸念されている。 ◆観光スタイルの変化に伴い、新たな観光資源の開発や体験型観光、イベント等の充実による既存資源の活用や広域連携による誘客が課題である。		市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22	H23		
					重要度	52.4	53.0	63.0	68.2		%
					満足度	32.7	32.5	37.2	41.5		%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
体験型・参加型観光の促進			◆まちかど観光体験館の整備や、農林公園ろまんちっく村や篠井農産加工所等における農作業体験、地元農産物を使った農産加工体験などの開催により、多様な体験型・参加型観光の機会を提供している。 ⇒ H24に向け、体験メニューの充実や、積極的なPRを実施し、更なる利用促進が図られる見通し。 ◆産業観光の促進については、市内の製造工場、伝統工芸、地場産業(大谷石、地酒)などにおいて、見学や体験をさせている事業所の集約やそれを活用した観光ルート開発について検討中である。 ⇒ H24に向け、工場見学実施企業の情報を集約し、PRや新たな観光ルートの整備を行い産業観光が活発化する見通し。 ◆ふるさと宇都宮の伝統文化の継承については、「伝統工芸品展」の開催やパンフレットなどによるPR、また、伝統工芸を継承する宮のものづくり達人による出前講座などを通して普及啓発をしている。 ⇒ H24に向け、引き続き伝統工芸品展の開催やパンフレットなどにより普及啓発が図られる見通し。	◆多様な体験型や参加型観光の機会を提供するため、民間事業者の主体的な取組みを支援していく必要がある。
地域特性資源の活用促進			◆本市の特色である「食」、「文化」、「農」など地域資源を活用したイベントとして「餃子まつり」や「ミヤ・ジャズ・イン」、「農林業祭」、「さつき&花フェア」などを開催しており、毎年、県外からも多くの来訪者が訪れている。 ⇒ H24に向け、各団体と連携し、イベント内容の充実を図り、市内外へも積極的なPR活動を行うことで来訪者が増加する見通し。 ◆本市を拠点とするプロスポーツ団体などを活用し、ホームゲーム開催時には来場者に対して本市の魅力をPRし、交流人口増加に努めている。 ⇒ H24に向け、各団体と連携し、本市への誘客活動を行うことで、交流人口が増加する見通し。	◆地域資源活用するイベントにおいては、多くの観光客を呼び込むために常に新しい魅力を創出するなど、内容の充実を図ることが課題である。 ◆地域資源の活用においては、豊かな農産資源をいかにして観光と連携させるかが課題となっている。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値、下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績				
1	観光宣伝事業	来訪者, 市民, 市 民以外	S59	観光パンフレット等作成部数	部	105,000	85,000	90,000	95,000	100,000	A	継続	既存の観光パンフレット等を見直し、各種観光パンフレットの発行にあわせ、来訪者ニーズに対応した、総合パンフレットの作成や、紙以外の媒体についても検討していく。
				観光パンフレット等配布部数	部	58,200	72,100	75,000	102,600	95,000			
2	(財)大谷地域整備公社運営費補助金	(財)大 谷地域整 備公社	H2	観測システムによる常時監視	年	1	1	1	1	1	A	継続	民生の安定のためには欠かすことのできない組織であり、県と連携を密にしながら、公社事業の着実な推進を支援していく。また、公社の役割を含めた管理体制のあり方についても検討していく。
					年	1	1	1	1	1			
3	広域観光宣伝事業	各種協議 会	H3	加盟団体数	団体	5	5	5	4	4	A	継続	観光スタイルが変化していく中、効果的に来訪者を確保するため、各種団体に加盟し、各種イベント・キャンペーン等への積極的な参加等により、広域に渡る観光PR活動の充実を図る。
					団体	5	5	4	4	4			
4	ふるさと宮まつり開催委員会事業補助金	ふるさと 宮まつり 開催委員 会	S50	観客者数	人	500,000	550,000	600,000	550,000	550,000	B	継続	本市最大規模のイベントであり、集客効果も高いことから、イベントが継続されるよう開催委員会を支援していく必要がある。また、市民参加の促進と誘客を図るため積極的にPRをしていく。
				市民参加者数	人	14,000	20,000	21,000	20,000	21,000			
					人	20,000	20,000	21,300	21,000				
5	うつのみや花火大会実行委員会補助金	うつのみ や花火大 会 実行委員 会	S59	観客動員数	人	300,000	300,000	300,000	350,000	350,000	B	継続	集客効果が非常に高いイベントであり、重要な観光資源の1つであることから、花火大会が継続されるよう実行委員会を支援していく必要がある。また、誘客を図るため積極的にPRをしていく。
				協賛金総額	千円	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000			
					千円	22,517	19,410	17,610	27,272				
				法人スポンサー数	社	150	150	150	150	150			
		社	142	155	77	118							
6	宇都宮バルーンフェスティバル活用事業	とちぎ熱 気球選手 権 実行委員 会	H18	大会開催日数	日	3	3	3	3	3	B	継続	バルーン大会は、継続開催によりファンが増加しており集客力の高いイベントとして成長してきたので、関係自治体と連携しながら実行委員会を継続的に支援し、地域イベントとして定着させていく必要がある。また、誘客を図るため関係自治体と連携し積極的にPRをしていく。
				来場者数	人	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000			
					人	70,000	100,000	97,000	115,000				
7	フェスタ in 大谷交付金	フェスタ in 大谷 実行委員 会	H13	参加団体数	団体	17	17	17	17	17	B	継続	実行委員会と連携し、イベント内容の見直しや、充実に取り組むとともに、来訪者の増加に向け、積極的にPRしていく。
				来場者数	人	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000			
					人	25,000	28,000	22,000	24,000				
8	インディ活用事業	インディ・ ジャパン3 00プレイ メント実行 委員会	H17	イベント実施期間	日	70	70	70	70	—	C	終了	「インディ・ジャパン300」終了に伴い、H23で終了
				プレイメント企画及び実施件数	件	8	8	8	8	—			
					件	9	6	5	5				
9	大谷観光景観形成事業補助金	地元住民 団体	H20	岩出し及び下草刈り等景観整備面積	m ²	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	C	継続	地域住民が大谷奇岩群に愛着を持って、観光資源として良好に再生・保全していけるよう、ボランティア参加者数の増加に向けた支援体制を充実させていく必要がある。
				会員数	人	100	100	100	100	100			
					人	86	83	83	83				

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値、下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
10	まちかど観光体験館整備事業	まちかど観光体験館設置者(事業主)	H18	まちかど観光体験館設置件数	件	1	1	1	1	1	C	継続	体験型観光を促進する上で、まちかど観光体験館の増加は効果的であるため、整備を希望する事業者の掘り起こしなどを積極的に行っていく必要がある。
11	北関交流フェア負担金	北関東自動車道沿線で交流フェアなどの連携事業を開催する自治体	H14	参加イベント数	回	6	5	5	5	5	C	継続	沿線自治体による連携事業への民間事業者の参加促進により、本市の地域資源のPRに一定の効果があるが、一層効果的・効率的に本市の魅力発信などを推進するため、沿線自治体との意見交換や情報交換を通し、積極的にPR活動に取り組んでいく。